

第25回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第25回 奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会	
日時	平成21年 5月19日 (火) 18:00~20:10	
場所	奈良市人権啓発センター 3階大会議室	
出席者	委員	今井範子、岡本志郎、片山信行、木内喜久子、國領弘治、阪本昌彦、笹部和男、佐藤真理、田中啓義、田中幹夫、古海忍、坊忠一、三浦教次、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口裕司、吉岡正志、吉田隆一、渡邊信久
	事務局	岩井部長、西村次長、息田次長、仲参事、糸岡課長、西山工場長、吉住課長、松本補佐、森嶋補佐、平木主任、川内
	コンサル	館田剛志、大木雄介
記録作成者	奈良市施設課	
配付資料	資料52 第24回策定委員会開催概要及び議事録概要版 (案) 資料53 最終候補地区の選定方法について (案)	
会 議 内 容		
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第24回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) ごみ焼却施設の候補地選定について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

	議 事 要 約 内 容
事務局(森嶋)	● 今回は、奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会の第25回目の会合でございます。委員会開会に先立ち、新しい委員をご紹介します。奈良市自治連合会代表の四元委員が4月12日付けで朱雀地区自治連合会長を退任され、後任として、神功地区連合会長の笹部和男様を当策定委員会の委員としてお迎えすることになりました。
笹部委員 事務局(森嶋)	● 皆さん、よろしくお願ひします。 「4月1日付けの人事異動による新任職員を紹介」
事務局(岩井部長)	「部長挨拶。」
事務局(森嶋)	● 本日の出席状況は、委員総数21名の内18名の委員の出席を頂いており、本日の委員会は成立していることをご報告します。 尚、郡鷲委員長は、ご欠席される旨の連絡を頂いており、議事の進行につきましては渡邊委員長代理にお願ひ致します。
渡邊委員長代理 事務局(森嶋)	1. 議 事 (1) 第24回策定委員会議事録概要版の確認
渡邊委員長代理	● 議事要録で、何か訂正等事務局に届いていますでしょうか。
事務局(森嶋)	● 現在のところ、特に届いておりません。
渡邊委員長代理	● 今日の会議が終わるまでに、特に異議がなければ承認されたということで、進めさせて頂きたいと思ひます。
事務局(森嶋)	「資料確認。」
渡邊委員長代理	(2) ごみ焼却施設の候補地選定について
事務局(森嶋)	● 資料53で、委員の方々には、仮に点数を付けた資料が配られてると思うんですが、傍聴の方にはお渡ししてないと思ひます。お渡しすると、決まったかのように、間違って受け取られてしまうと、いらない摩擦を生んでしまうので、今日をご覧頂いてご理解頂きたいと思ひます。
渡邊委員長代理	● 4月の候補地追加募集の結果をご報告させていただきます。結果的には申請はございませんでした。 問い合わせが3件有り、1件目は、③-4、大和田町の候補地区内に土地を所有されている個人の方からで、2件目も大和田町、同じ③-4でございます。3件目は、募集期間が終了した5月7日に連絡があり、法用町、⑨-1でございます。 また、報道機関の方に情報提供を致しまして、全国紙の奈良版に、今回の追加募集についての記事を掲載して頂きました。
事務局(森嶋)	● 問い合わせがきたけれども、正式な応募はなかったということです。この状況から、一応周知の徹底は、できたと判断してよろしいですね。 今回、点数を付けて最終的に投票によって決めましょうという話を、前回

<p>事務局（吉住）</p>	<p>したんですけども、具体的な点数のつけ方の案を作っていますので、皆さんで議論していきたいと思います。</p> <p>「資料53の説明」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選定フロー図の一部修正 ・ 前回の委員会の主な意見について ・ 比較評価項目の取りまとめ方として4種類の案を作成。
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際に何をすればいいか、おさらいをしたいと思いますが、基礎評価点については、誰が考えても各項目の中で○、◎、△の順番はそんなに変わらないだろうから、全会一致で決めましょうと。真ん中の評価点の重み付けは、委員によって、考え方違う点があるから、自由裁量区域であると。それらを掛け合わせたものが、右側になるという仕掛けになっている訳です。 <p>3段階評価か5段階評価か、評価項目を4項目、13項目で考えるというのもあり、事務局からは4つの案を出して頂いた訳ですが、土地の応募状況による比較評価は、少し説明がほしいんです。</p>
<p>事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 候補地の応募状況による評価で、バーのところは応募がなかったので点数を入れてません。⑥-1と⑥-2は◎で、⑨-1で△、⑨-2で○と整理するに当たって、前の表で評価させて頂きました。
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 最後にあった順位付けをするのは、今までの経験と議論を考慮して全体として、私はこう思うというのを投票する形。
<p>事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価点方式では反映しきれないこともありますので、一つの方法として、1位から3位までの順位を付けて、理由を書いて整理することによって、最終的に絞り込んで頂く方法と、二つの方法ですること、慎重に3カ所に絞り込んだと説明できるので、提案させて頂きました。
<p>渡邊委員長代理 A委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見を頂きたいと思いますが。 ● 評価点でやるのと、順位付けで投票すると、2種類あると混乱する元にはならないかなと。13項目の項目を視点をもう少し絞ってはどうかと思う。例えば、地権者の協力の中で、土地の所有者数の数が多いから大変だと判断するのか、大土地所有者がおられるから作業し易いと理解するのか。視点を絞って頂くと評価がし易くなるんです。経済効果の用地の取得、その難易度ということで解釈するのか。もう少し分かり易くして頂いた方が、同じ視点で評価できるのではないかと感じます。経済効率もインフラ条件と造成コスト、電気、上下水道の整備はもう少し詰めていかないと、今の段階ではランク付けができないんじゃないか。収集運搬コストは数字が出てますので、比較的分かり易いと感じますが、あとの3項目は、今の段階では、点が付けづらい感じがします。生活環境は他市への近接、協議関係で、アセスメントという問題、環境問題について判断するという形になる。住宅が基準を満たしているけれども近くにあるという形で環境的な配慮をせないかんと。施設の配置の制約は、もう少し詰めないかと判断つかない感じがします。産業廃棄物の埋立の有無、状況は、ボーリング調査等やらないと分かりませんので、

<p>田中(啓)委員</p>	<p>もう少し具体的に、判断基準的なことを、書いて頂いて、その視点で21名の委員が共通点をもって評価できるんじゃないかなという感じがします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 13項目の点数付けが難しいということは、あると思うんです。13個をやることの方が意見が反映され易いので、いいと思うんですが、計算例のところ、13項目を一辺に100点を分配してありますが、人の思考の順序は、段階を踏んで、それぞれの項目で一つのまとまりができたあとで、大項目ごとの重み付けをしていくという二段階評価を人の頭はしてるんじゃないかなと思うんです。一辺に13項目をやると、検証もできないし、だめじゃないかと思うんです。 <p>どう重み付けをするか、すぐに判断することが難しいということだと思うので、重み付けに関する議論を、委員会でしたらいいと思うんです。それは強制力がある訳じゃないけど、それに従って自分もやればいいし、だけど皆がそう言ったって自分はこう重み付けすべきだと違う意見を書いてもいいと思うんです。</p> <p>評価点による方式と、委員の意見で順位付けするやり方と、二つやって、最終的に評価するのも一つの方法じゃないかと思いました。</p>
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● I-Aで、上から3つ選ぶとなれば、第4位と点数差がわずかに1点で、3段階で評価した方法、1点差しか付けてないのが基本的に問題な訳です。1点差を議論したかって、根拠って言えません。 <p>重み付けをした結果。1位と50点差位あります。重み付けは、私達の主観でやります。あそこへ持って行きたい人が多くて、持っていったん違うかと、言われるとお手上げになります。重み付けも、皆で議論をやって、重み付けをした考え方が相手に分かんないと、批判を受けますから。重み付けの方法も議論なしは、まずいと思います。</p> <p>それから各自が家でやる前提の表は、鉛筆なめなめしたのと違うかと、批判受けます。やるときは、公開の席でここでやらないとだめです。</p> <p>もう一つは基礎点が分かっただけからしますと、主観が働いて、自分の持っていきたいところに配分するようにしたのと違うかと批判受けますから、基礎点のつけ方する前に、重み付けの議論しないと、影響受けますから、問題があると思います。</p> <p>各項目について、どういう基準で評価してるのか、共通認識する必要ありますから、この項目でいいかどうか議論を、する必要あると思います。</p> <p>地権者の協力という概念の中にパブリックコメントを入れるのは、まったく意味がないと思います。パブリックコメントを書かれた方は、一般市民の方で、地権者とは別です。</p>
<p>三浦委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 比較表の中で◎、○、△とありますが、試算例を見ますと、その○で4点だったり、◎で4点だったり、根本的なところがぶれてるんじゃないかなという気がするんです。統一しておかなかつたら、この比較表の信頼性に疑問を感じられると思うんです。
<p>笹部委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1位から3位まで挙げて、根拠を付ける方法に魅力の1つは感じます。こ

事務局(吉住)	<p>れだけでいいという意味ではないですが。ここに挙げられてる、4項目、13項目でチェックすべきことが、網羅されてるかどうか一つ。数値化することが非常に難しい。それぞれの人の全人格的に、その人の知識と合わせてするという自体も非常に意味があることではないかと思ってます。挙がってる項目については、多少抜けてる部分があるんじゃないかと思ってます。個人の利用者の利便性についても配慮は、あってもいいと思うんです。他にも抜けてる部分もあるかも分からないので、総合的な評価の方法と併用することが、意味があるんじゃないかと思ってます。</p> <p>● 他の市でやっているとありますが、これだけで対応してる市はありません。比較評価表を参考に各委員さんが順位を付けておられます。長野市ではポイントつけ、ランク付けし、各委員さんが順位を付けるための資料として使われて、最終的に判断されてます。</p> <p>策定委員会の中で、比較表に修正を加えて積み上げてきますので、整理を最終的に行って、総合比較評価と回答表による順位付とで、使って絞り込んでいく方法を提案しました。</p>
田中(啓)委員	<p>● 分析的で積み上げる方法と、総合的、直感的な方法と、2つ確認してみる必要があると思うので、両方した方が、私もいいと思います。</p>
元島委員	<p>● 評価項目の客観的な配点は、皆さんで、奈良市が新しい焼却場を選定するに当たっての特徴として、決めるべきだと思います。評価は、加点主義を基本として、もう一度少し時間をかけて入れ替えをしてみるとか、大項目の客観的な配点基準を決めてしまう必要があると思うんです。</p>
渡邊委員長代理	<p>● 二段階作業の大項目を設定して、点数何点にするか、評価値の点数、合計で何点満点にするかを決めて。大項目の中の小項目を吟味して、具体的な点数を付けて、その前ですか重み付けするのは。</p>
森住委員	<p>● 大項目4つの内で何点配点するのかを、私重み付けと言いました。細項目についての重み付けも客観的に、お金を基準に重み付けできます。</p>
佐藤委員	<p>● 重み付けについて、最終的には各委員が判断するとして、ディスカッションした方がいいのではないかと議論があり、それをやるべきだと思うんです。気になるのは、平均値から幅があまり広がらないように、ディスカッションする必要があるんじゃないかなと思います。</p> <p>それと重み付けの合計100になってるんですが、大きすぎじゃないかと、若干気になるんです。</p>
阪本委員	<p>● II案が13項目になってますが、小項目の合計点数が4つの大項目を、公平にすべきだと。もう一つは、5段階評価にこだわらないで、6段階位で1～2、3～4、5～6とすれば、矛盾も解消できるんじゃないかと思っています。</p>
渡邊委員長代理	<p>● 具体的な意見として、3・4・3・3となっているから、不平等を感じるんだと。これを、1対1対1対1の割合に調整するのがいいというご意見です。もう一つは、6つに分ける提案がありました。</p>
事務局(吉住)	<p>● 比較評価表を数回に渡って委員会で検討頂いてますが、比較評価表は、良いことは文章で太文字。普通のことは、縦の細文字、課題ありは斜め文字と</p>

	<p>いう形で、3段階評価できるつくり方をさせてきて頂いています。これに基づいて、◎、○、△をつけさせて頂きました。</p> <p>5段階評価でご指摘があり、対策として6段階評価というご意見はありましたが、7段階評価ですと、◎は7～6点、○は4点が標準で、5～3点、△は2～1点で、整数で点数を付けられ、説明し易いので、7段階評価も考えられます。次回までに、○△◎を付けた理由の整理をすることは可能かと思えます。</p>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日は、3段階でよしとする議論はなかったもので、6ですと、真ん中がなくなるから、日本人の感覚には合わないということで、7段階を提案された訳ですね。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的に3段階評価はやめて頂きたい。例えば、土地用地買収費は、最高が22億で最低が1.5億です。それを3段階に分けるのは大雑把すぎる訳です。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 22段階評価まではすることもないと思いますが、7は真ん中を取れるので、事務局的には7だったら整理できそうな感触なのですね。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● この13項目、大項目の4つを、それぞれ1対1対1対1の割合で、皆さんよろしいと思われますか。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 1対1でやるのと、それからそこに重み付け付けるのですから、色々パターン作ってやったらいい訳です。等配分もあれば、どれかに重点を置いて配分を変えるという複数の案を作って、頂いたらいいと言ってるんです。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 二重でやるという意味は、4項目について、1対1対1対1になるようにして、その後で、4項目の重み付けをするという。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● となると経済効率のところ一つ減らすの。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 減らすんじゃなくて、地権者の協力が3つあるのは、地権者の協力だけで10ができるようにすると、10点だとこれを3・3・4で振り分けるじゃないですか。経済効率も10持ち点だから、2・2・4・4と、1・1・4・4とかなる訳です。一まとまりを10にするという意味です。そこで、掛け算を一旦する訳です。地権者の協力のところで、3対3対4で割るとしたら、一旦0.3をかける訳です、それで掛け、地権者の協力のところを0.3で掛けても、0.3で掛けたもの、0.4で掛けたものというのが、合計点が出る訳ですが、それをもう一回また、配分を何10%でやっていくという、二段階重み付けになると思うんですけどね。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 経済効率の項を一つなくして、3つにするのは、作業としては、簡単です。仮に全部を、大項目を10点、10点、10点、10点とすれば、上の3つを3・3・4、4・3とか、どれか一つを4点にするんですね。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 10点を好きなように掛け算していいと思うんです。2番目の大項目も全部出せば10点だから。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 項目を減らす必要はない、細項目は。減らしたらそこ自身批判されるから。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 項目の議論をもう一回検証して、項目がいくつあるか確定して、その次に大項目の中での重み付けを議論して、次に大項目同士の重み付けを議論するという、3段階の順番になるんじゃないかなと思うんですが。

渡邊委員長代理	● 今までの経緯をたどると、この3・4・3・3になるんです。これで大幅な見直しをするのは、僕は実は賛成ではありませんで、今までの比較表を、踏襲していくべきかと思いますが。こうやって並べてみて、少し足りないんじゃないかとかいうのがあったら、付け加えるのも有りかと思いますが。
笹部委員	● 持ち込む市民の利便性を一つ入れて頂いたらどうかと思っています。それと、廃棄物の埋立地があるという指摘はあり、現状は産業廃棄物処理場が大部分を占めて立地しており、施設整備にあたっては森林伐採を行う必要は比較的少ないと。自然環境との関係で、プラスの項目としては上がってるんですけども、逆に大量の廃棄物が処分場であった場合に、施設立地として建物が本当に建てられるのかとか、マイナスの面も有り得るんじゃないかという気がしてるんです。
田中(啓)委員	● 表では、一方では自然環境破壊が少ないという意味合いで捉えてるのと、⑥-1でしたら、土壌対策が必要だからっていうマイナス評価になってる。諸刃の剣みたいな感じで評価をして頂いてると思うんです。処分場があるということがプラスの要素のなってるのと、マイナスの要素、見方が違うと。私はそれでもいいんじゃないかなと思ったんですが。
渡邊委員長代理	● 最終処分場がすでにあるとこですと、その上に施設を造るのは、非常に困難ではないかという指摘ですよ。
事務局(吉住)	● 13項目の細分化されてるところで、自然環境の一番下のところで廃棄物処分場の有無という形で評価させて頂いてます。
渡邊委員長代理	● それは、有ったら△なんですね。
事務局(吉住)	● あるところは△、ない所については○と、二段階評価という形でしてます。
吉岡委員	● 評価項目の13項目を再点検して、中身の認識を皆さん合わすと。その上で7段階評価してもらおう。委員による重み付けは、13項目と、4つの大項目です。両方の重み付けをダブルでやるということになっていくのかなと。その結果を踏まえて委員が投票で決めるとか、そんな方法でいいのかなと。項目について、だいたい積み上げてきてるという事実も踏まえながら、最終的に入れる項目にするのか、削る項目にするのか、次回研究したらいかがですか。地権者の協力のパブリックコメントの意見は、大事と思ってまして、地権者の協力という項目の立て方が、表見的には立地の難易度とかにするとか、議論してもいいかなと思ってます。
渡邊委員長代理	● 今日の状況から、大項目の4つだけで、A案は、あんまり相手にされてなくて、13項目、項目数は10位は必要だろうってこと。それと3段階ではなく、5段階でもなく、7段階になりそうだとということと、今まで比較表で、13個項目があって、大きく変わらないと思うんですが。市民が持ち込むときの利便性は、皆さんどう思われますか。はじめてですね、この視点は。
吉岡委員	● 収集運搬コストの中身として入れ替えもあると思うんですよ。
渡邊委員長代理	● 収集運搬コストは行政が払うコストです。
吉岡委員	● よく似た話で、概念としては。
渡邊委員長代理	● 含まれてるという考えもあるんですね。

吉岡委員 田中(啓)委員	● それは議論した方がいいと思います。 ● 収集運搬コストを、行政だけじゃなく、一般の市民もということを前提で皆で考えましょうと、統一しておけばいいと思います。
渡邊委員長代理 森住委員	● そのこの部分の重み付けが、少し増えるかもしれないということですね。 ● 地権者の協力という整理で、パブリックコメントについては、あそこに入れるのは論理的におかしいんですよ。地権者の意思表示はないんだから。どこで評価すべきかと言えば、これからやる住民との協力度のところで評価することになる訳です。3つの候補地の中に残った時に、評価すべき項目です。
渡邊委員長代理	● この項目は、ずっと入れてきてるけども、抜くことも考えてもいいかもしれないですね。そのことも踏まえて、大項目と小項目、段階も7段階でということで、今日はそういう進歩はあったということです。こういう感じでもう一度議論した方がいいですね。項目についても、パブコメは、少しここにふさわしくないという。足りないという点があれば、事務局に直接言ってもらってもいいですか。次回、議論すればいいですから。
森住委員	● 自然環境と、生活環境の評価点の付け方が、他の項目と違うのは、この委員会が始まってから、2つを重点を置いて、30何ヶ所から、15候補地、9に絞ってきた訳です。選ばれたところは、60点以上のところが残っている訳です。今回3カ所に絞ることは、80点以上のところを選ぶことになりますから、9候補地は、最低ラインが60点から70点以上という点数の付け方しますと、点が離れないんです。そのところを共通認識しとかなないと、優秀なところばっかりでも、かなり落差がつく印象を与えます。
渡邊委員長代理	● そもそも生活と自然について、ネガティブマップ作ってやってみました。大きすぎるという意見は、僕もそれは思っております。
田中(啓)委員	● 経済効率の点でも、ものすごい遠い所を外してるんですよ。自然環境も生活環境も確かに200mでやってはきてるのですが、これは委員の見方によって、それでもより離れた方がいいという考え方も有り得るかと思うので。
森住委員	● 差が大き過ぎると言ってるんです。距離によって評価するのはいいんですけど、60点以上のところを評価しますから、片方が63点であれば、片方は70点、これ位の差だったらいいんです。印象としておかしいと言ってるんです。
田中(啓)委員 森住委員	● 経済効率の方はいいんですか？ ● 経済効率も、逆に差がつきますよ。土地の買収価格が22億、1.5億です。わずか1点や3点の差だったら、感覚が合わないでしょ。あそこの評価については、点数が大きくなる形が印象が合う訳です。
三浦委員	● 廃棄物の処分場の有無が評価点に際して、あったところは△と評価されてるんですが、廃棄物処分場があったとかどうかは、その10haの中でごみ焼却施設を、どの部分にどれだけのスペースをとるのか。廃棄物処理場の上に建てることに、とられる感じになるんです。外せばいい訳で、必ずしも廃棄物の処分場があったから、△という評価は疑問があるので、委員の皆さんに、説明しておく必要があるんです。10haの内、どの部分をどれだけ使うのが大切なことだと思うんです。廃棄物処分場の跡地でも、活用の仕方はあると

<p>笹部委員 渡邊委員長代理</p>	<p>思うんです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 区画の中でどの範囲に処分されてるのか。 ● 最終処分場があったとしても、鉄の要塞みたいなもの作る訳ですから、かなり深い杭を打ちますし、考え方によっては、有効に活用したということで、悪くないなという気がするんですけど。
<p>事務局（仲）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 調べてる中で、施設を建てる場所は、廃棄物が埋まってるように思っています。施設を建てることは、物理的には廃棄物が埋まっても、可能です。何が埋まってるか分からないので、調査は必要だと思っています。今まで10haを選んできた中で、残ってきた分にそういうものがあるということで評価をして頂きたいと。それを避けて建てられるかどうかの詳細な検討は、してませんが、感覚としては避けられないと思っています。 <p>候補地の応募状況という項目で、応募がないところは、0点です。0点と点数が入るところで、かなり差が出てきます。この取り扱いについて、ご議論頂きたいと思っております。</p>
<p>森住委員 事務局（仲）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● それはそれでいいんじゃないですか。 ● 重みが偏ってくる話で、地元が協力してくれるのだから、その分は高くなるのは当然ということであれば、いいんですが、他のところが0点になるのは、いいんでしょうか。
<p>渡邊委員長代理 森住先生 渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ここだけ特例で8段階評価になるってということですよ。 ● 0からはじめたら8段階でいいんじゃないですか。 ● 今度は7段階を基準にして、項目についても、大項目と各項目という形で、ご議論頂きたいかと思います。
<p>事務局(吉住) 渡邊委員長代理</p>	<p>「広報木津川の4月号、5月号の報告」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物でも、広域処理と国が言ってることで、全く知らないでは、格好つかないので、知識として教えてもらってるということです。 <p>今日用意したものは、これで終わりでしょうか。</p>
<p>渡邊委員長代理 事務局(森嶋) 渡邊委員長代理</p>	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あと日程で、次回は。 ● 次回は6月23日です。 ● そこが決まってるんですね。その次が、これからですね。 <p>8月後半いいですか。8月25日で、次々回お願致します。次回は6月23日ですね。それでは、これで終わらしましょう。</p>
<p>事務局(森嶋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆様方には、長時間に渡り、ご審議を頂き、誠にありがとうございました。次回策定委員会は、6月23日火曜日の開催でございます。本日はこれを持ちまして、閉会とさせていただきます。